

取組概要

上野小学校では、「学習の定着・習熟の工夫をし、学んだことが剥がれ落ちない力をもった子どもの育成」を目指し、タイムマネジメントを意識した学習展開や、学習したことを活かしたり表現したりする場の設定、自分のめあてに向かって最後までがんばりぬく体育的活動及び読書活動の推進に取り組んでいる。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆教育相談コーディネーターを窓口とし、SC、SSW、外部機関との連携や情報共有を日常的に行うとともに、カウンセリングの内容等を共有する仕組みを構築することで、児童や保護者へのきめ細かな支援につなげている。
- ◆校区協育コーディネーターとの連携により地域ボランティアの協力のもと、地域学習の取組を推進している。

特徴的な活動

- ◆若手教員育成研修を定期的実施し、学級経営・授業づくり等の具体的な進め方を共有したり、日常の取組につなげたりしている。
- ◆実施した行事について、総括の仕方を共通理解して整理し共有することで、行事の質の向上や準備・提案・協議の効率化を図っている。

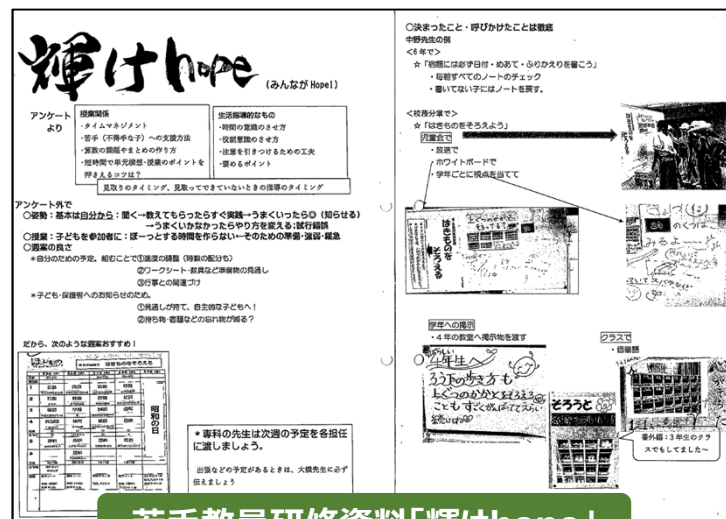
関係者の声

- ◆達成指標の客観性を高めるため、教師による見取りを検証の視点として位置付けることも考えられる。
- ◆体育的活動や読書活動において、自分自身の成長を実感できる「めあて」と「振り返り」の取組について、短期の検証や教師による見取りを組み合わせるなどして、児童自身がめあての更新につながる取組を行うことも考えられる。

教育課程の進捗確認



月ごとに振り返り・更新されるめあて



若手教員研修資料「輝けhope」



ICT活用

